

基研長期研究計画

「配位相転移の研究」

この計画の一環として12月12～14日基研で30余名参加の下に研究会が開かれました。討論にもかなりの時間をかけ、懇親会も開くなどのゆとりがあり、基研研究会として成功の部類に属すると自画自賛しております。内容としまして、本年度は結晶転位グループの参加を得、従来の統計力学的融解論に欠けていた液相の動的側面の表現の可能性が期待されます。以下に発表された13の講演要旨と、参加された戸田先生に書いて頂いたものを掲げます。本計画のうち8月22～24日の拡大世話人会の様様については既に本誌23巻3号(1974年12月)に報告が掲載されておりますので併せて御覧下さい。

なお50年度も同じ世話人が提案し、同題の長期計画として2月の研究部員会で可決されました。具体的実施方法等について御意見をお寄せ下さい。新たに参加御希望の方は世話人宛お問い合わせ下さい。

世 話 人

上 田	顕 (京 大 工)
小 川	泰 (京 大 理)
蔵 本	由 紀 (九 大 理)
樋 渡	保 秋 (金 沢 大 理)
吉 田	健 (九 大 理)
和 達	三 樹 (東 教 大 光 研)

プログラム

1. 3体相関からみた融点直上での短距離秩序
田中 実・福井芳彦 …… A46
2. イオン性液体構造に関する2, 3の問題点
古川和男・大野英雄 …… A51
3. 格子気体の液相 - 固相転移
桂 重俊 …… A54
4. Packing の問題としての結晶化
吉田 健 …… A60
5. コロイド系による物質構造の研究
蓮 精 …… A64
6. 融解の転位模型
鈴木秀次 …… A71
7. ガラス転移と融解(転位モデル)
二宮敏行 …… A75
8. 融解現象の統計理論
中野藤生・矢野 武 …… A78
9. 剛体球系の固相 - 液相相転移
本田勝也 …… A81
10. Soft-Core モデルの液相における速度相関関数
について
樋渡保秋 …… A86
11. 融解凝固の計算機実験
荻田直史・上田 顕・小川 泰
樋渡保秋・松田博嗣 …… A90
12. 多面体分布による粒子配置の研究
種村正美・小川 泰 …… A98
13. 高圧下における融解現象の計算機実験
小倉久和・上田 顕・小川 泰
種村正美・荻田直史・松田博嗣 …… A103
14. 液体と融解に対する動点な観点
戸田盛和 …… A109